

〒240-8501 横浜市保土ヶ谷区常盤台 79-1

橋梁・トンネルの保全更新に市内の「産」・「学」・「官」が連携して取り組みます

10月2日(金)
協定締結式

「横浜市内の道路橋及びトンネルにおける 保全更新技術に関する連携協力協定」の締結

橋梁やトンネル等の道路インフラの老朽化が急速に進行しており、限られた財源の中で構造物の維持管理を行うためには、様々な視点や新しい技術を積極的に取り入れる対応が必要となっています。道路インフラ老朽化の危機に対して、横浜市内の「産」「学」「官」が一致団結して立ち向かうために、横浜建設業協会、横浜市建設コンサルタント協会、横浜市道路局及び横浜国立大学大学院都市イノベーション研究院の四者で連携協力協定を締結します。

【協定締結式の概要】

日時： 平成 27 年 10 月 2 日(金) 午前 10 時 (1 時間程度)

場所： 横浜市 市庁舎 2 階 応接室(中区港町 1-1)

参加者(協定締結者)：

「産」 一般社団法人横浜建設業協会 会長 土志田 領司

一般社団法人横浜市建設コンサルタント協会 会長 山本 実

「官」 横浜市道路局 道路局長 手塚 文雄

「学」 横浜国立大学 大学院都市イノベーション研究院長 佐土原 聡

【協定の目的】

横浜市道路局にて管理する橋梁、トンネルの維持管理に関して、市内の建設業、建設コンサルタント業及び大学が有機的に連携し活動することで、横浜市民の安心・安全を将来に渡って確保すること

【具体的な取り組み(予定)】

- 補修・補強に関する新技術の、現地の橋梁やトンネルでの試験施工
- ロボットやカメラ等の最新点検技術の、現地の橋梁やトンネルの点検での使用・実用性等の検証
- 橋梁やトンネルの地域特性、劣化要因及び補強・補修対策等の研究・検証
- 「産」・「学」・「官」合同での勉強会や研修の実施
- 横浜国立大学での維持管理に関する講義の実施

【期待される効果】

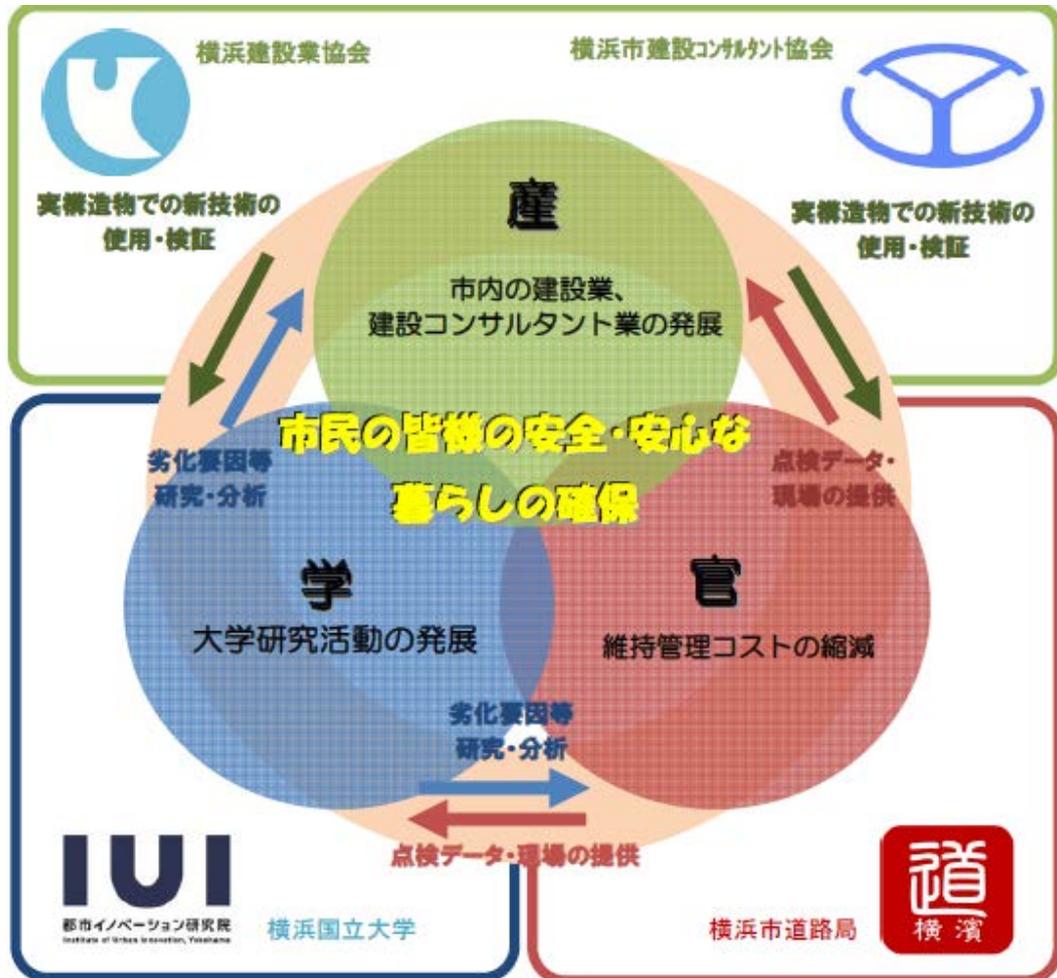
- 本市長寿命化修繕計画の精度向上や、定期点検や補修・補強工事での最新技術導入による **維持管理コストの縮減**
- 四者での意見交換や研究活動等への参加を通じた、**人材育成及び技術力向上**

本件に関するお問い合わせ先

横浜国立大学大学院都市イノベーション研究院 教授 勝地 弘(かつち ひろし)

TEL: 045-339-4243 FAX: 045-348-4565 E-mail: katsuchi@ynu.ac.jp

「横浜市内の道路橋及びトンネルにおける保全更新技術に関する
「産」・「学」・「官」連携協力協定」の締結



これまでの「学」と「官」の連携

平成 26 年 12 月 22 日から、横浜国立大学都市イノベーション研究院と横浜市道路局は協力協定を締結し、連携の取り組みを開始しています。今回の協定は、「産」を加えて新たなスタートを切るものです。

- (1) 平成 26 年度の取り組み 「神奈川県内の自治体における橋梁定期点検データ分析」
横浜市が実施した定期点検のデータを、横浜国立大学で分析しました。
- (2) 平成 27 年度の取り組み 「計測+点検データを用いた既存橋梁の妥当な数値モデル構築法の確立と、その維持管理への応用」
横浜市が管理する鷗(かもめ)橋(中区 1963 年竣功 供用中)にて、横浜国立大学が振動による構造物応答の計測と既存の点検データを用いた分析を行います。
(※本取り組みは今回協定でも引き続き取り組みます。)